

—— まんが^{いん ば ぬま もの がたり}印旛沼物語 ——

^{しゅう らい}
メガキスの襲来

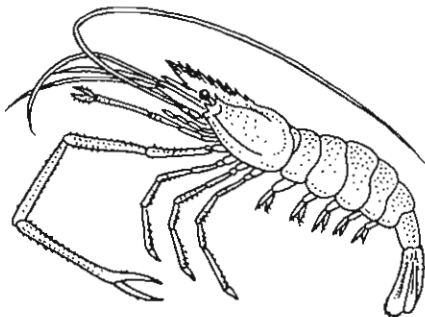
^{いん ば ぬま}
印旛沼を救え!



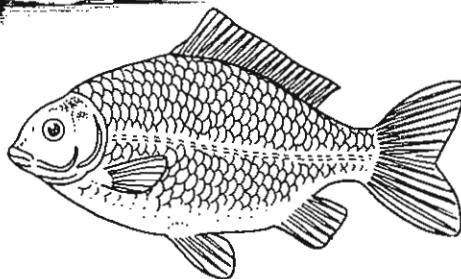
ずっと昔から 地域の人々の生活と
深いかわりをもってきた印旛沼
現在 その水は農業や工業
そして水道水として使われ
沼にはたくさんの方が生命が息づいている
しかし この印旛沼が今 危ない……



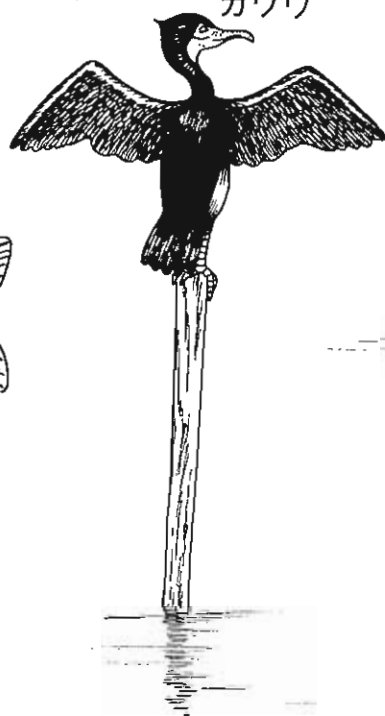
テナガエビ

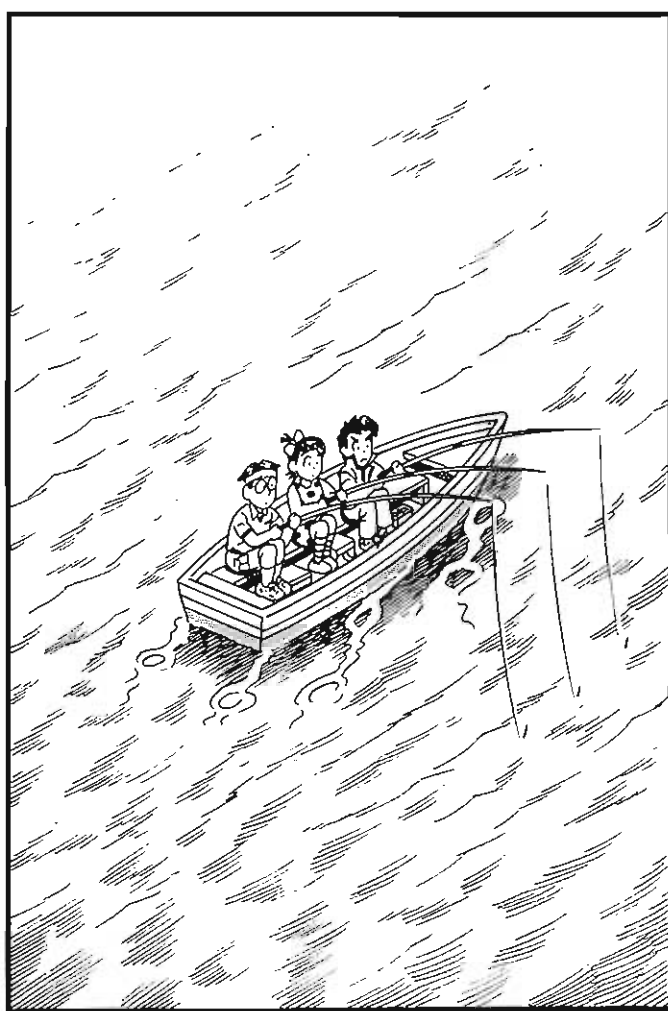
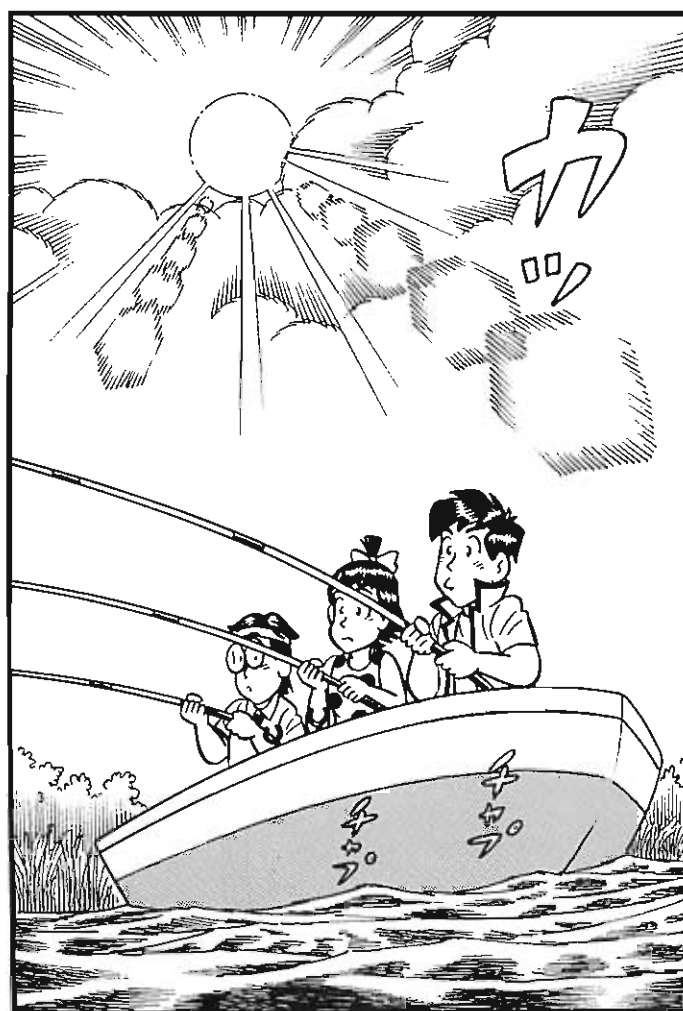
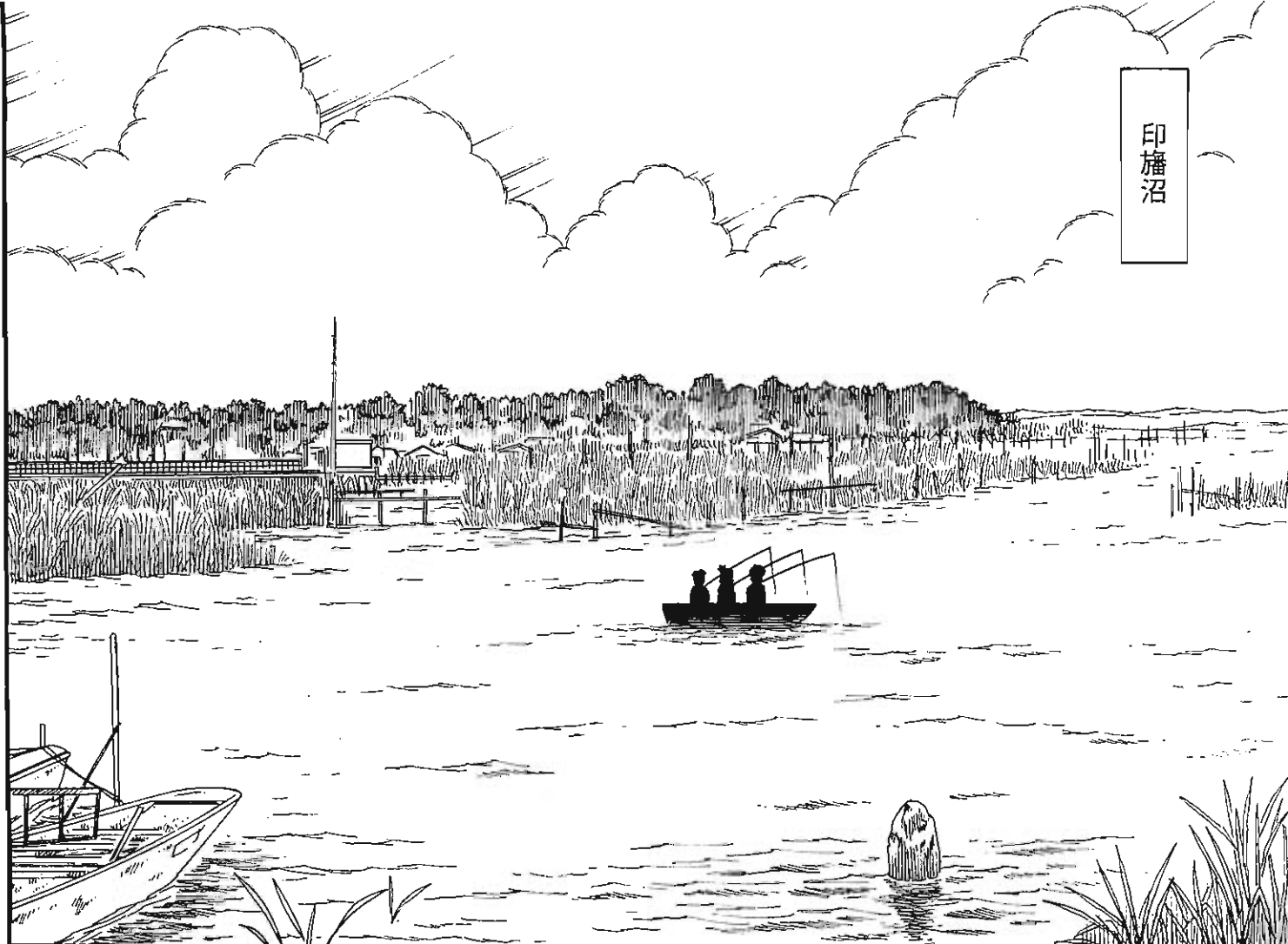


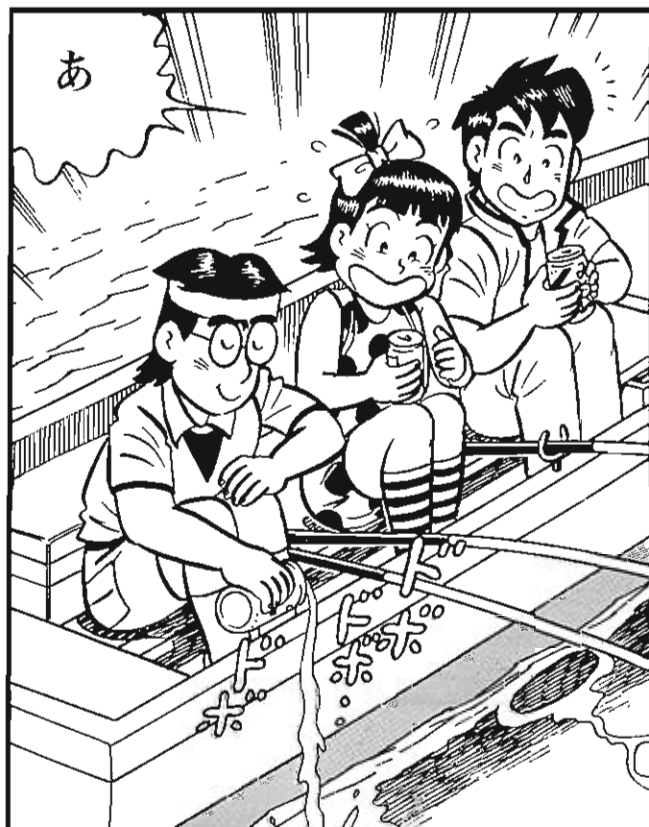
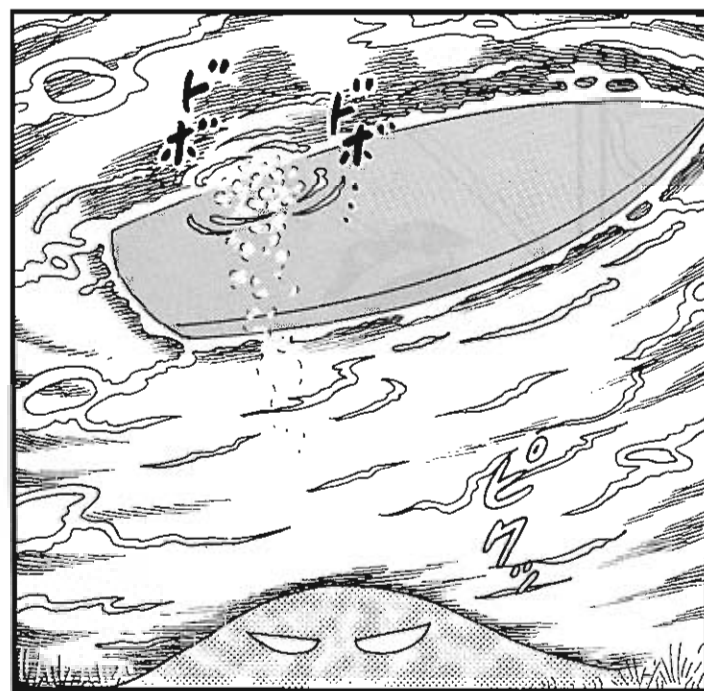
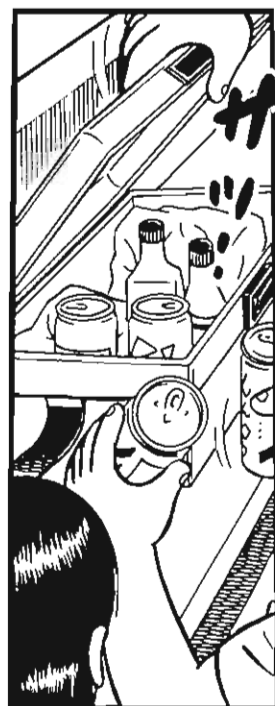
ヘラブナ

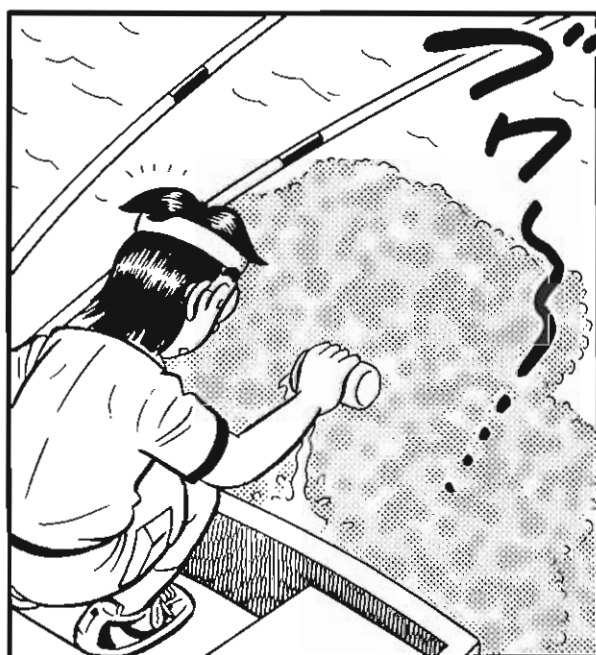
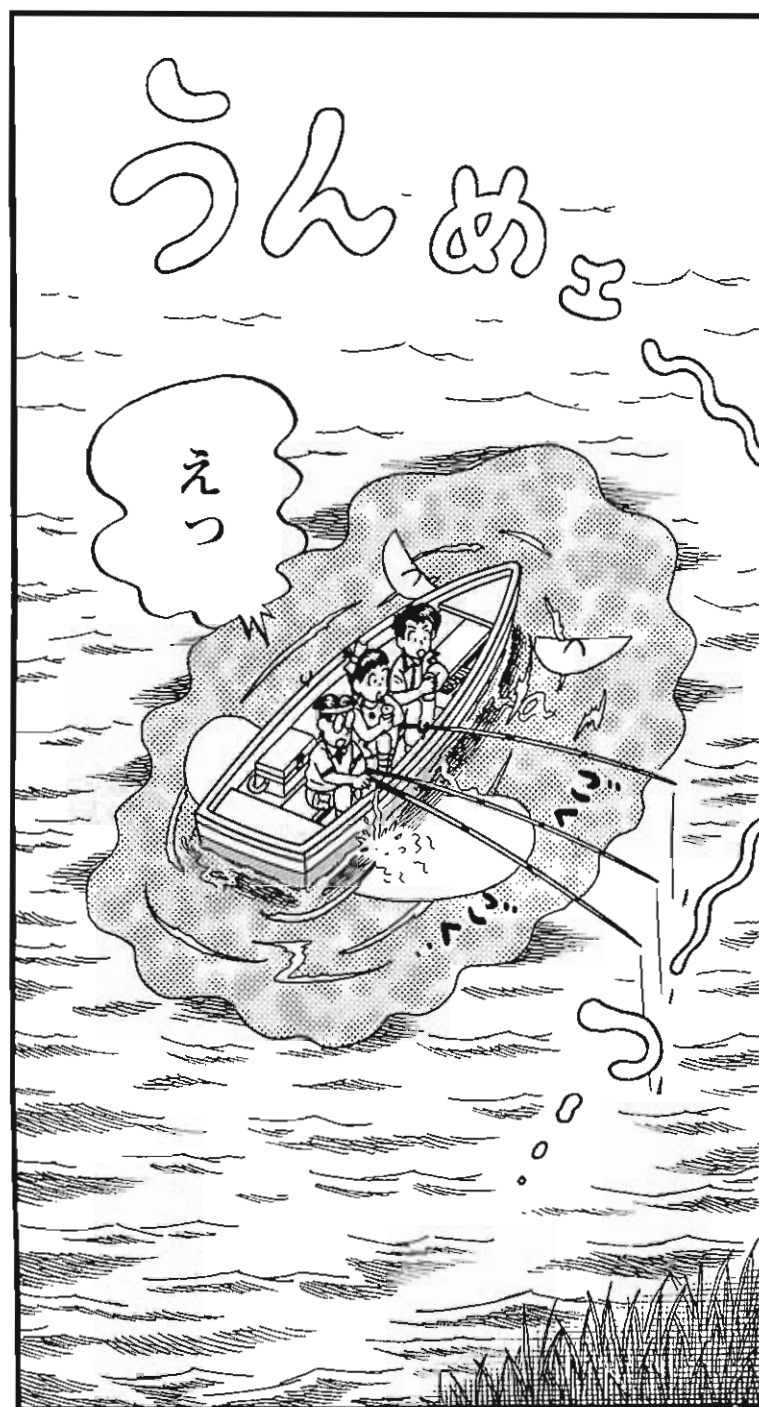


カワウ











もつと
よこせ!!



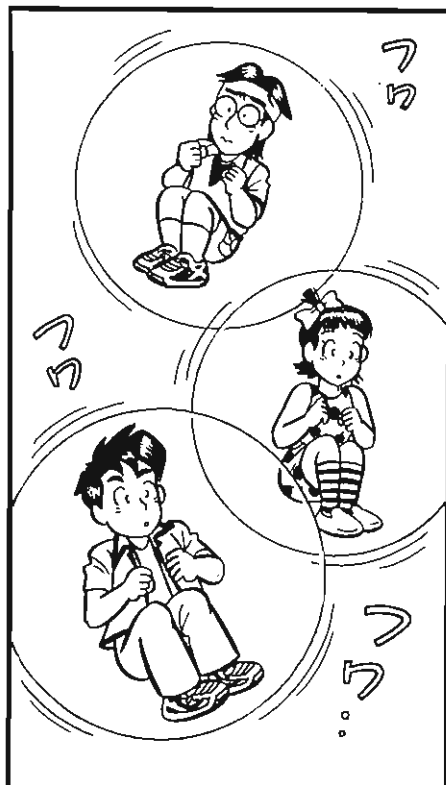
タオルが
ジュースなんか
捨てるから
沼が怒ったんだぞ!!

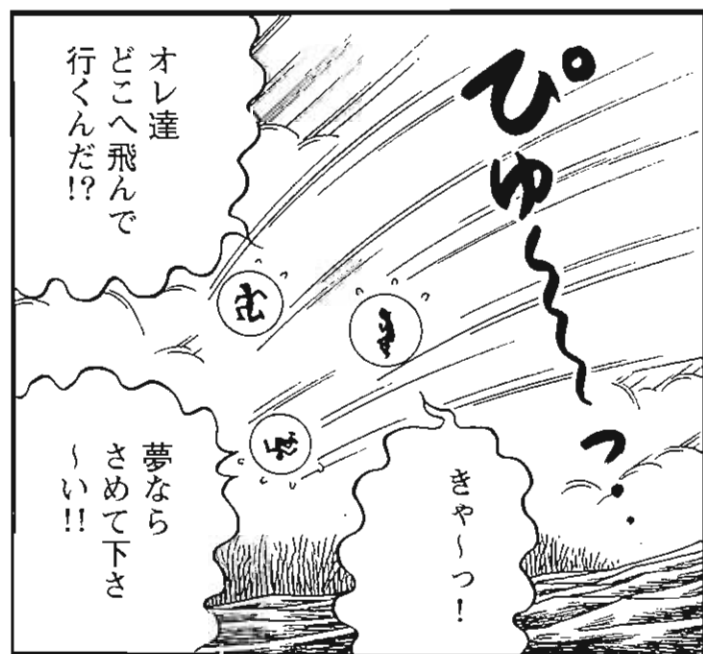
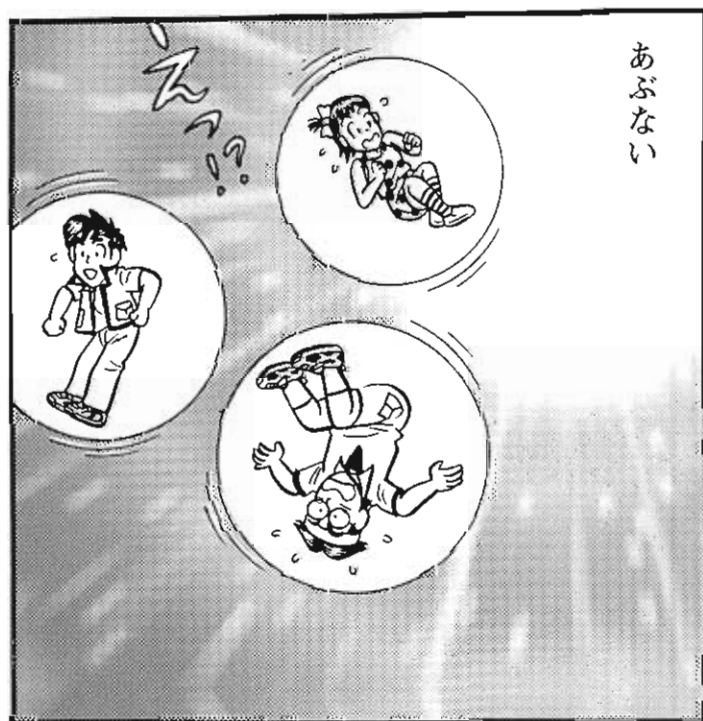


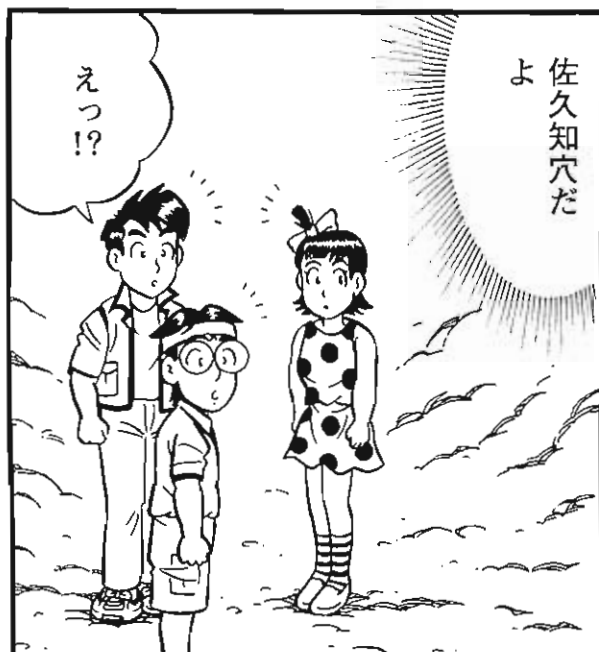
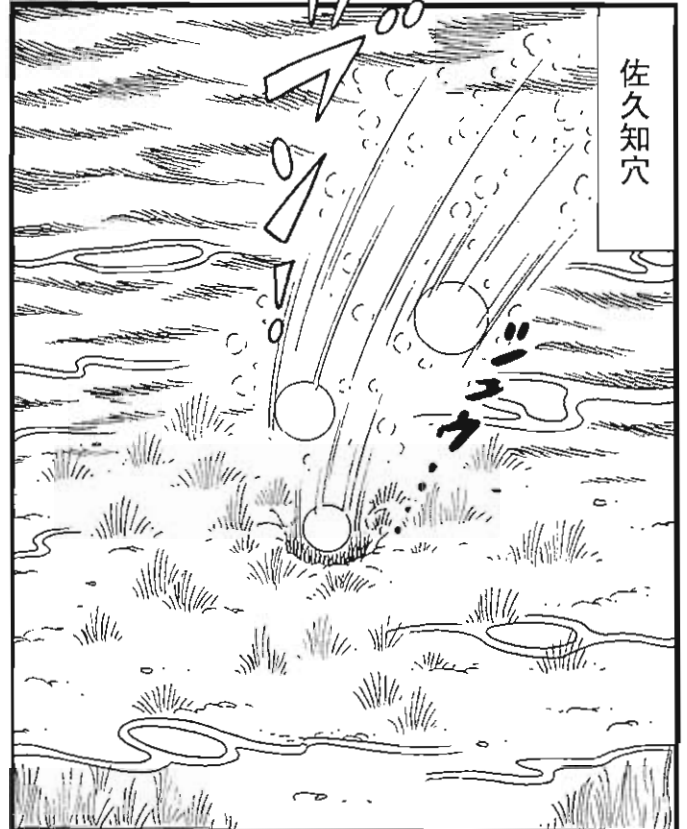
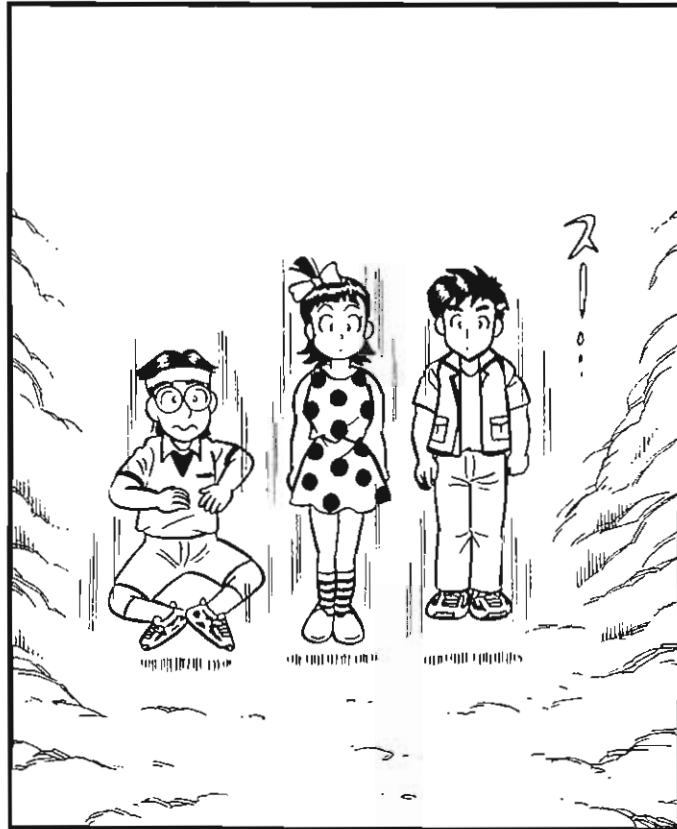
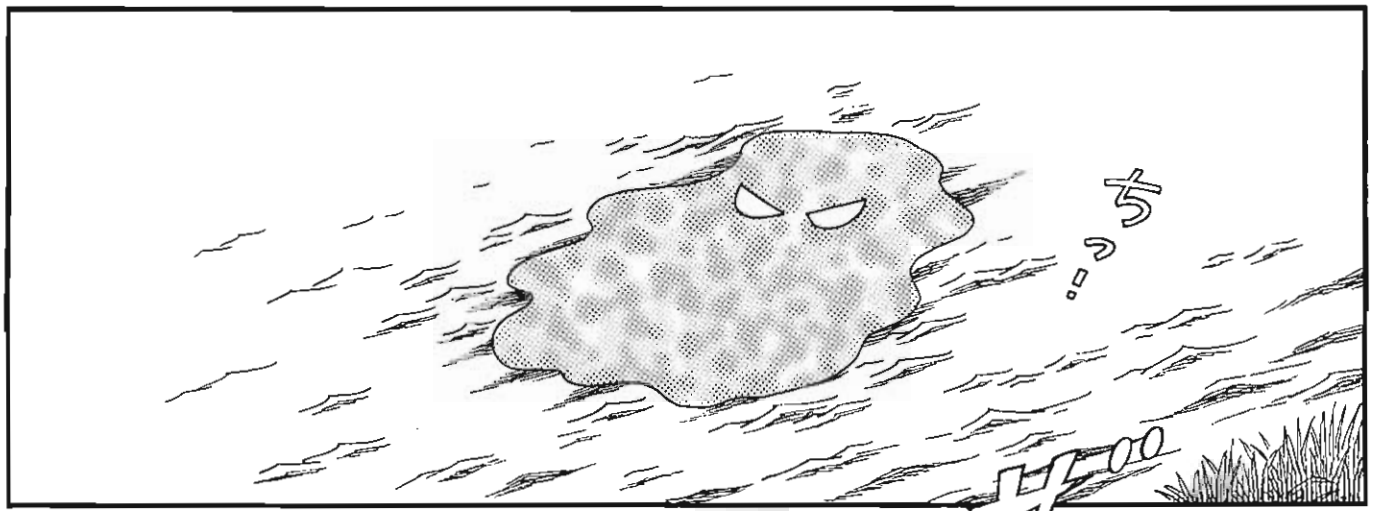
うああ!!

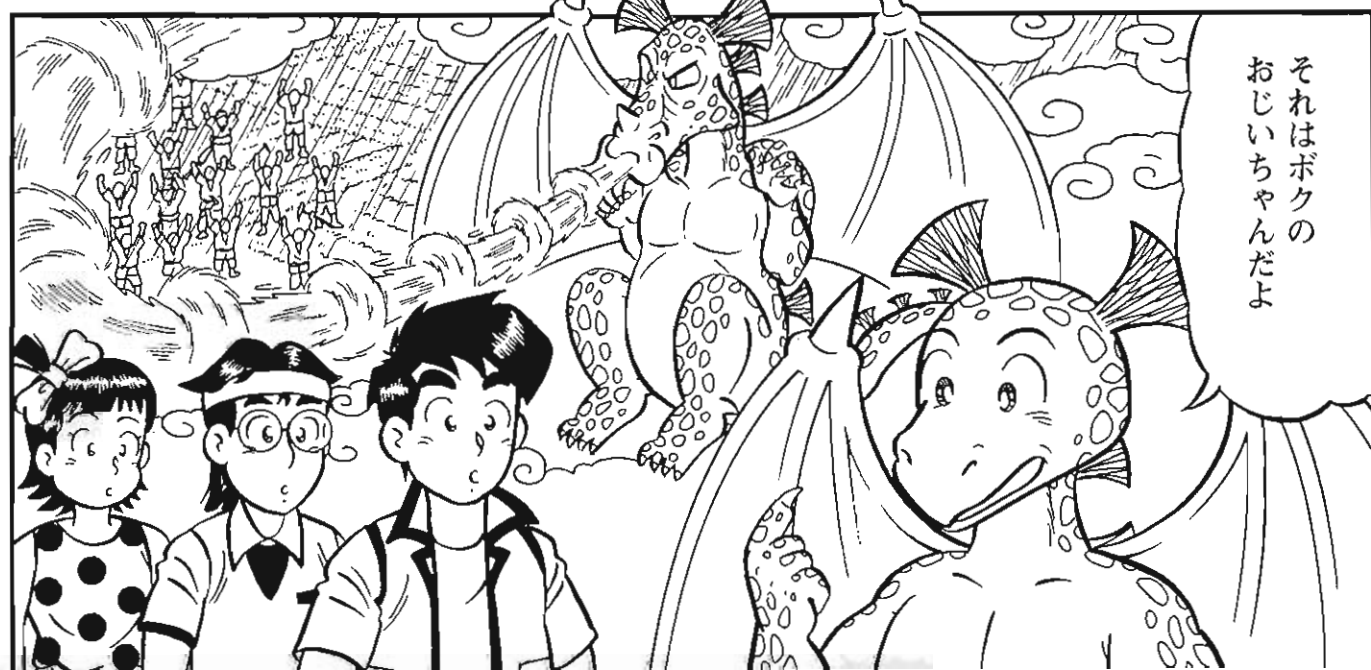
きゃあ!!

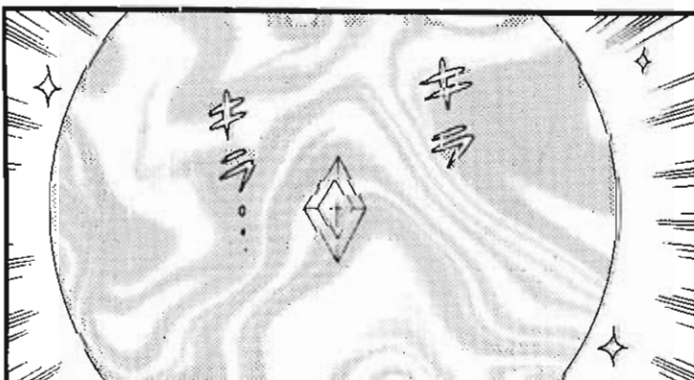
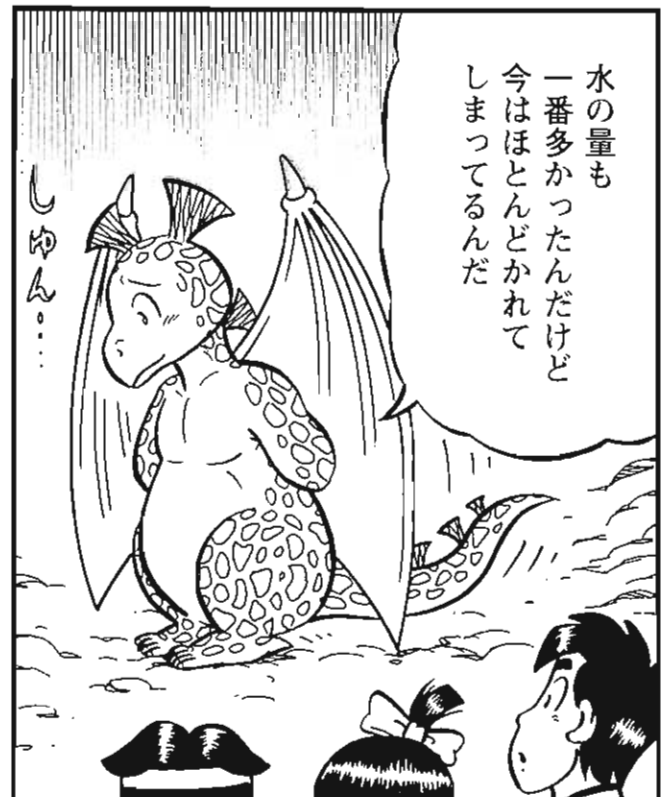
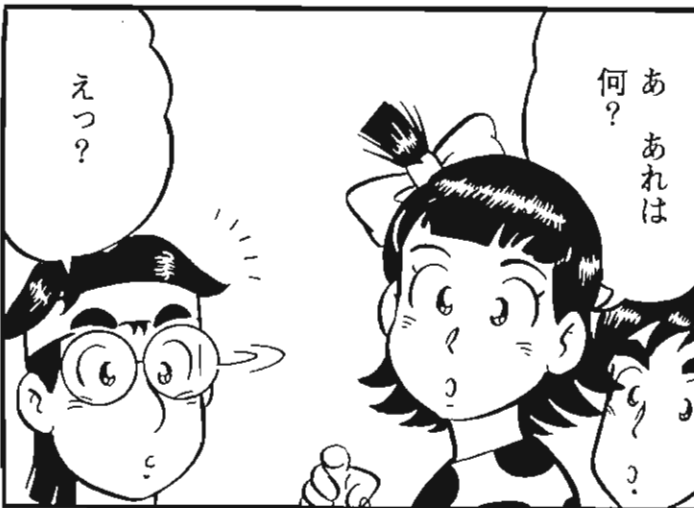
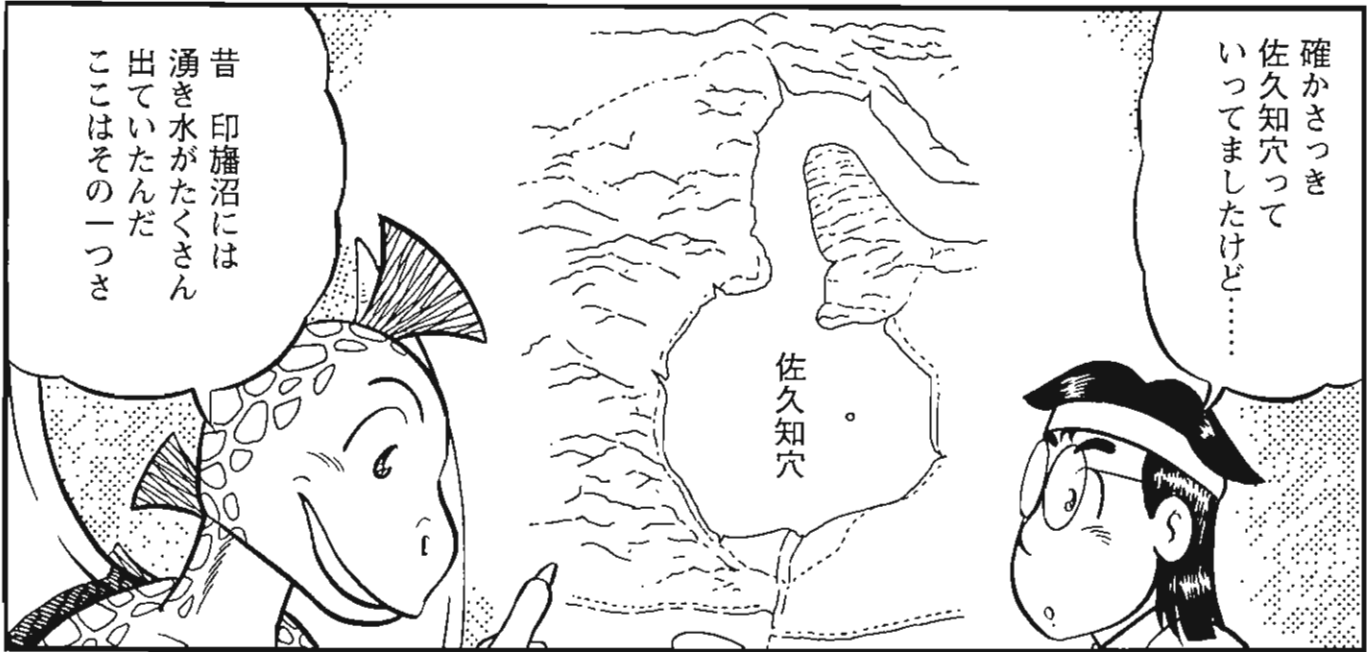
怖い!!

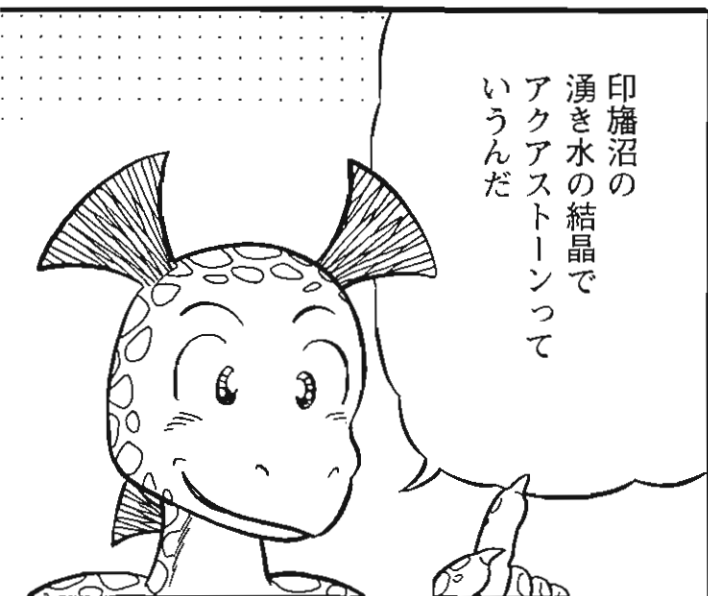




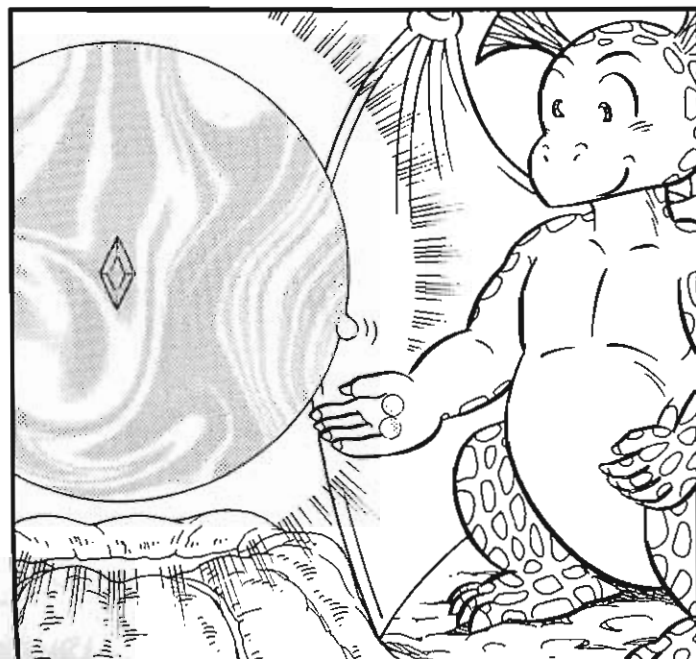
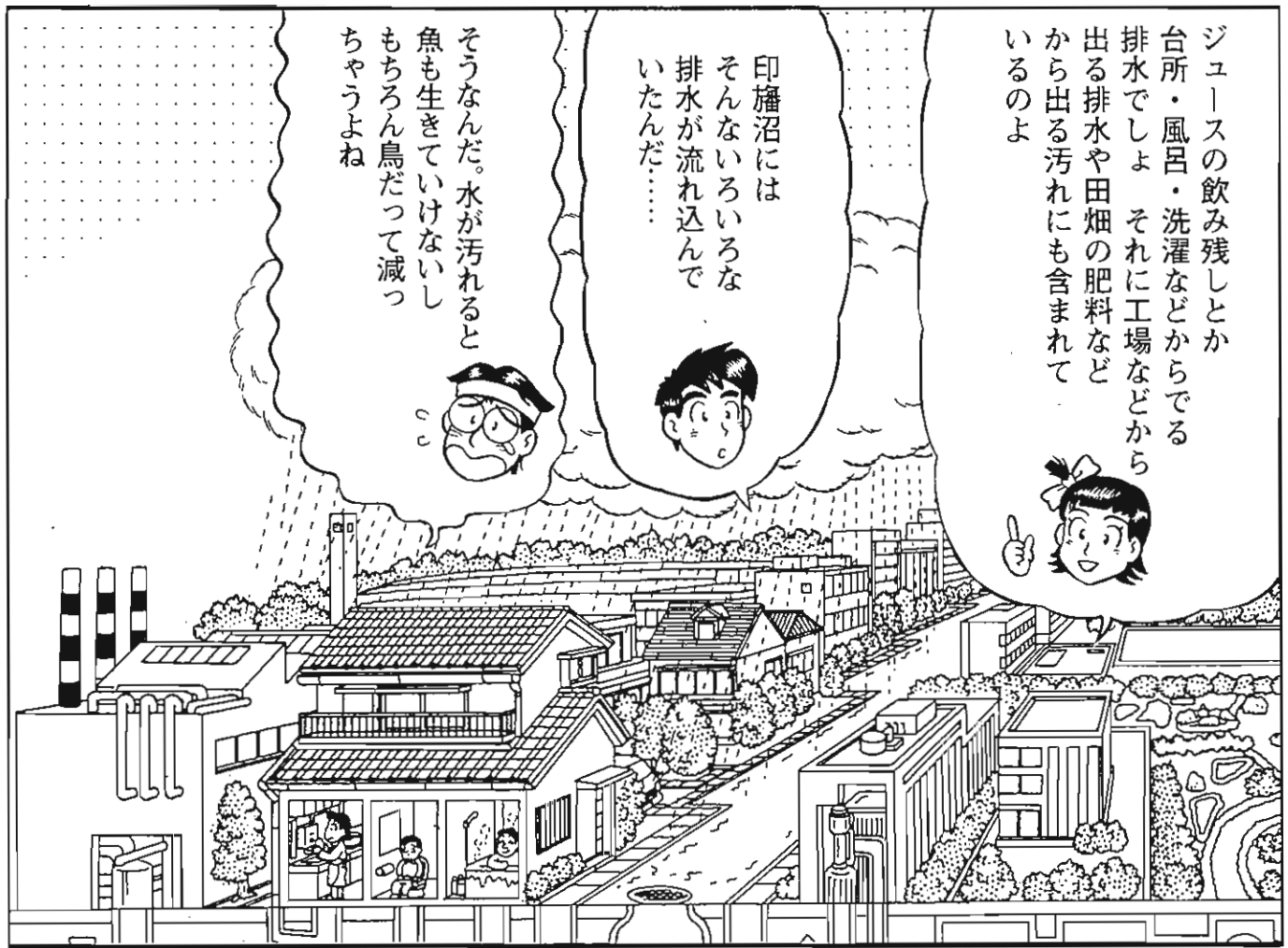




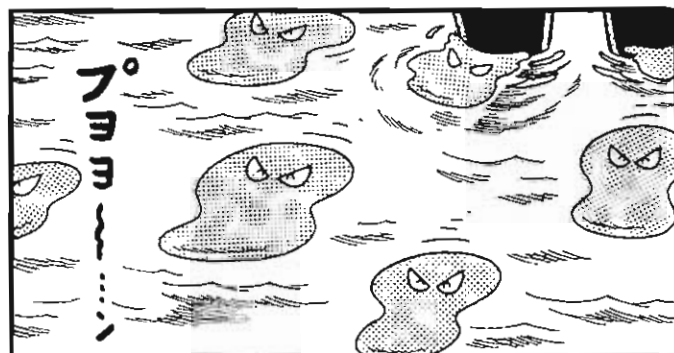
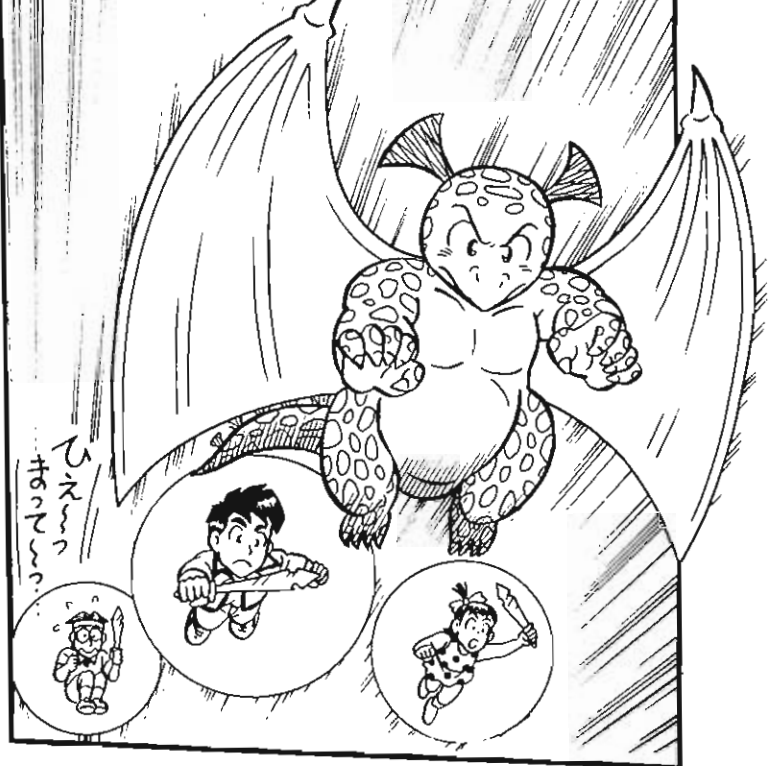
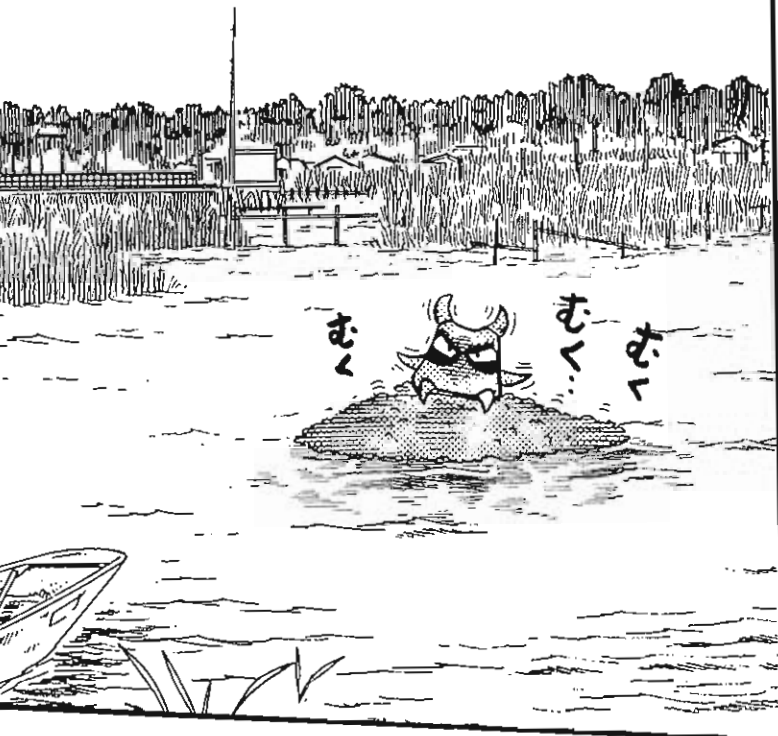


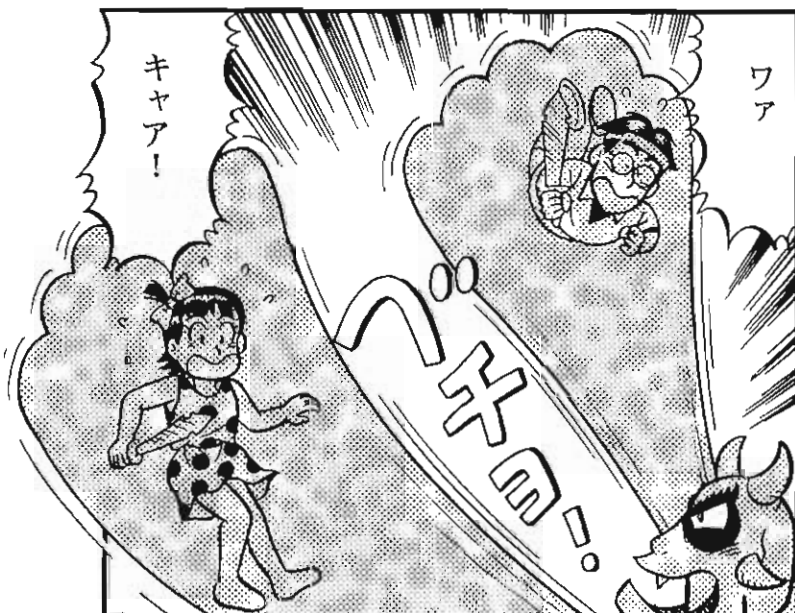
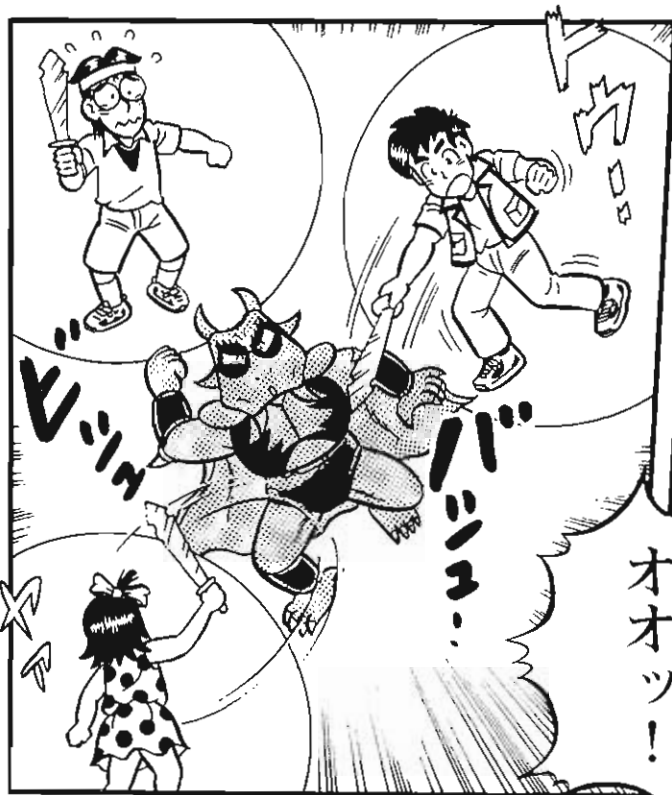


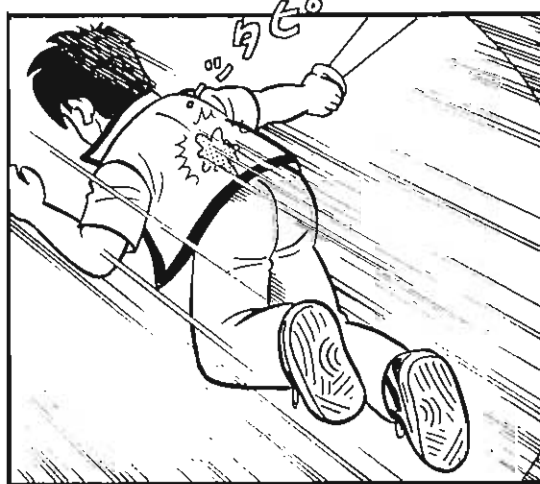
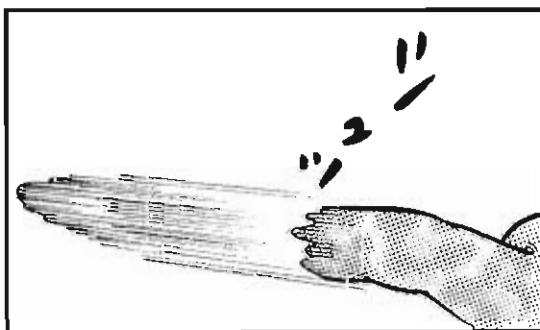
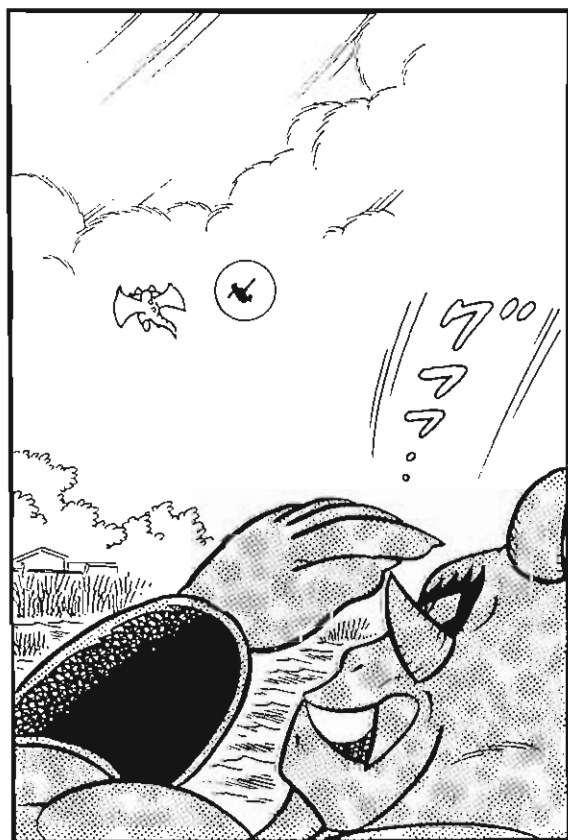
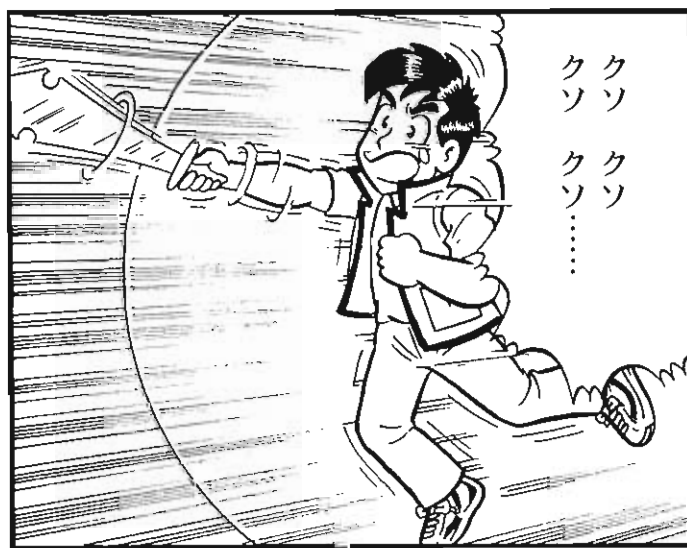
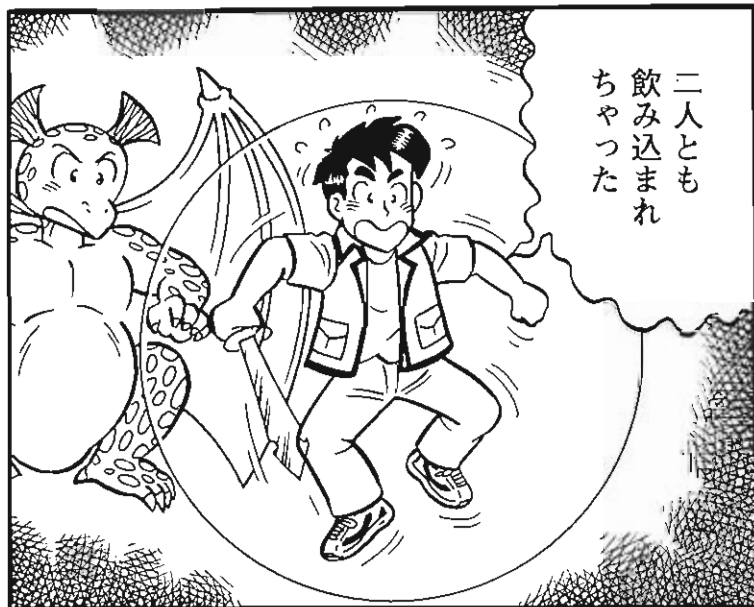


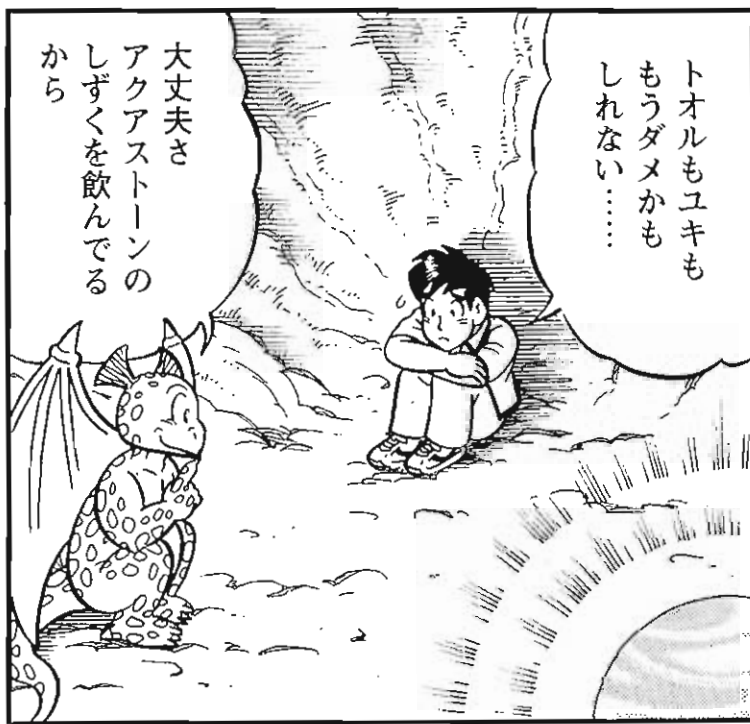
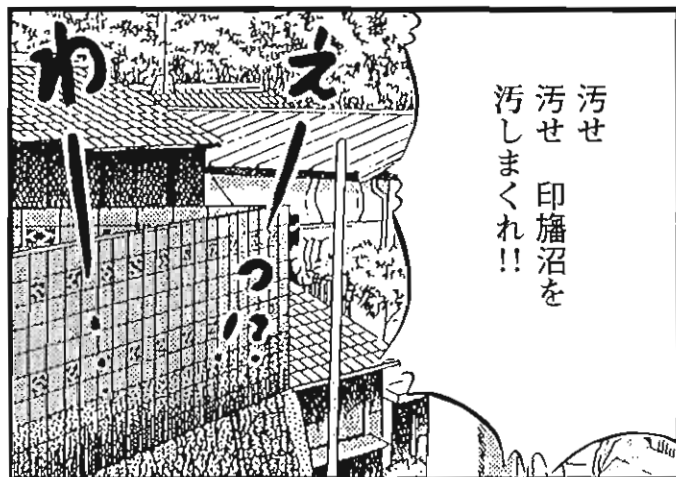
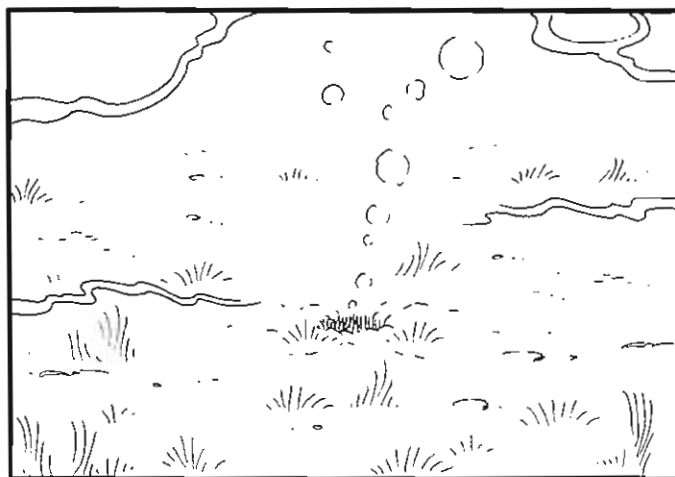
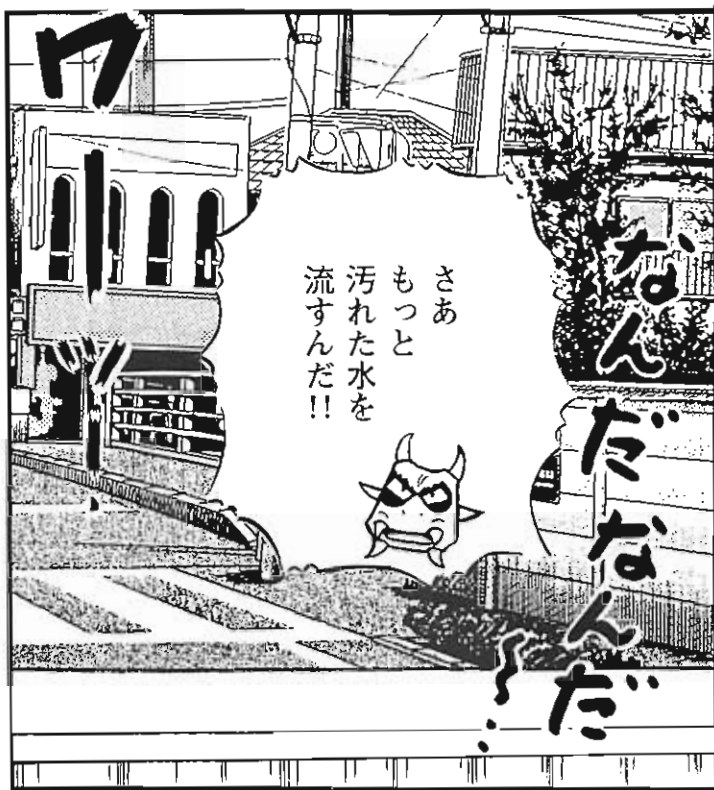


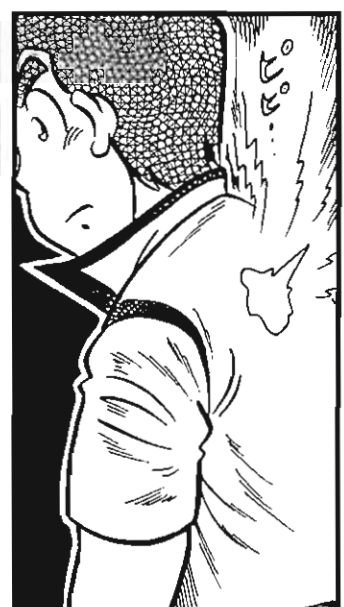
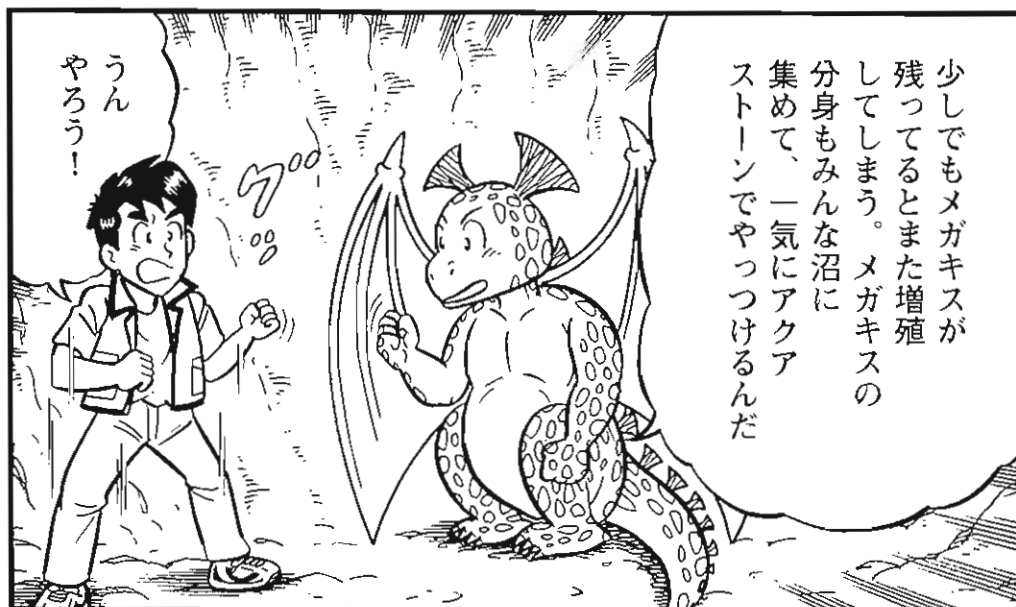
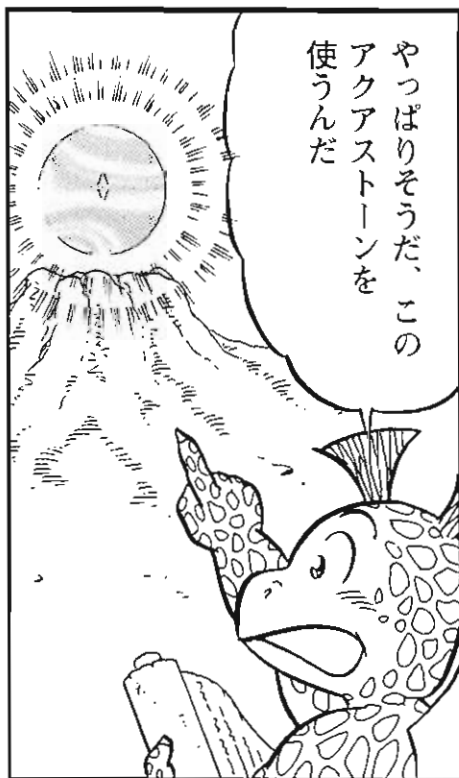


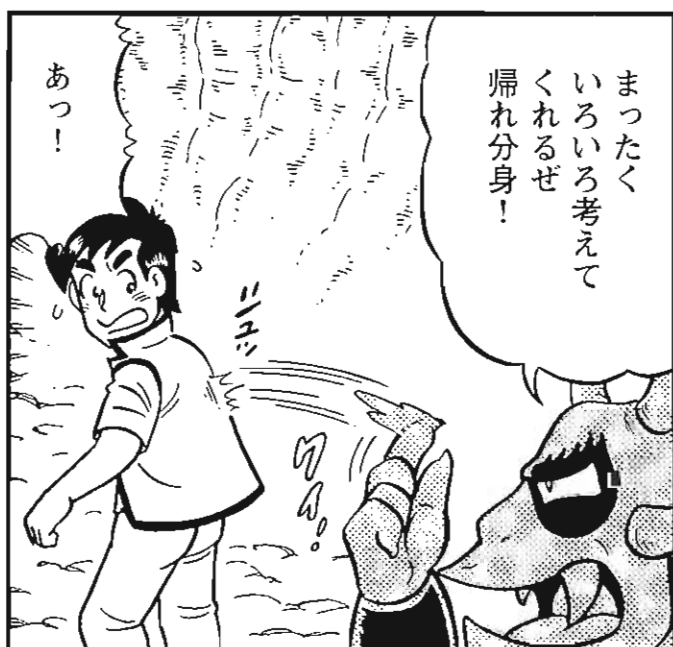
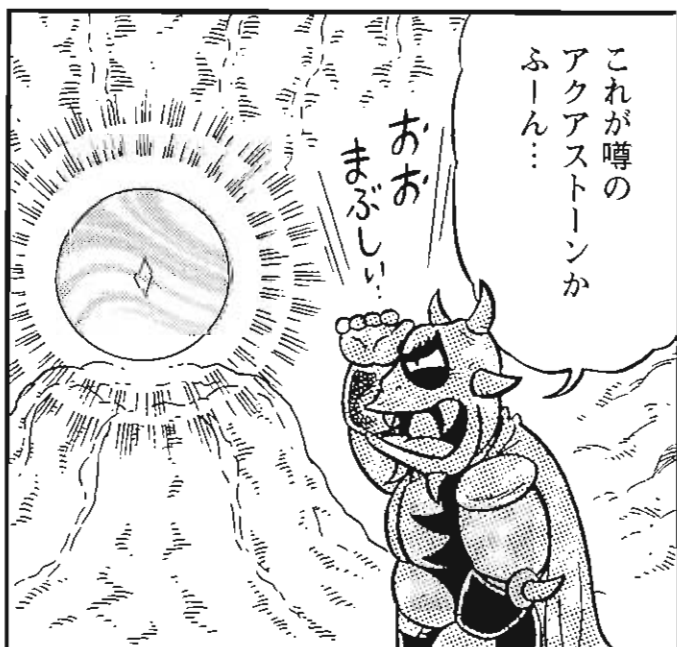
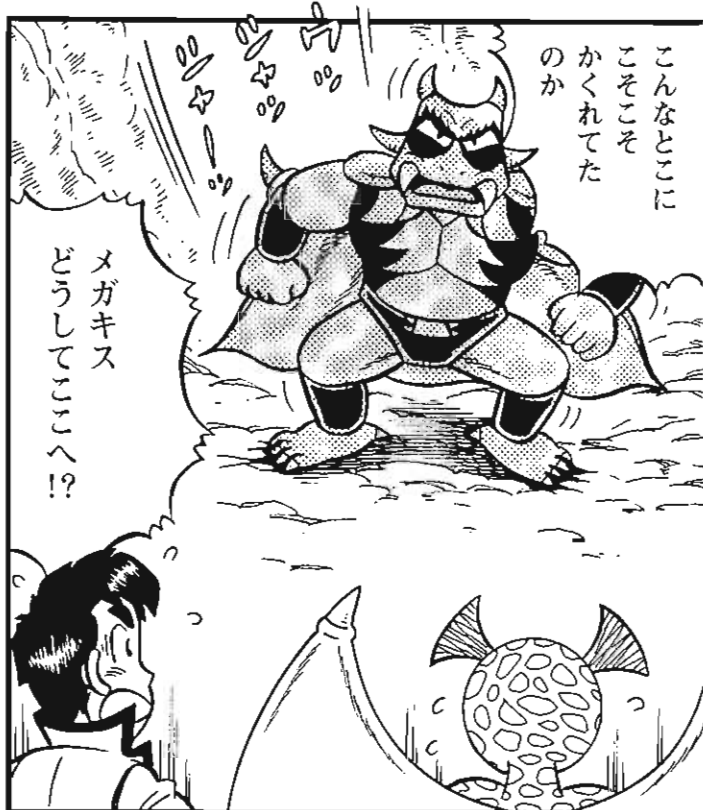








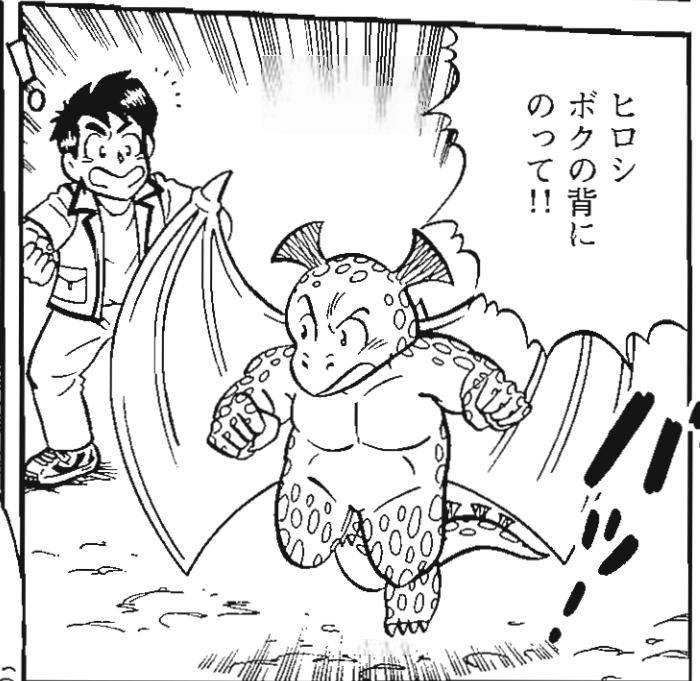






これでもう
オレ様を邪魔
する力はなくなった

アクアストーンが
なければお前達
なんかへっちゃらだぜ！

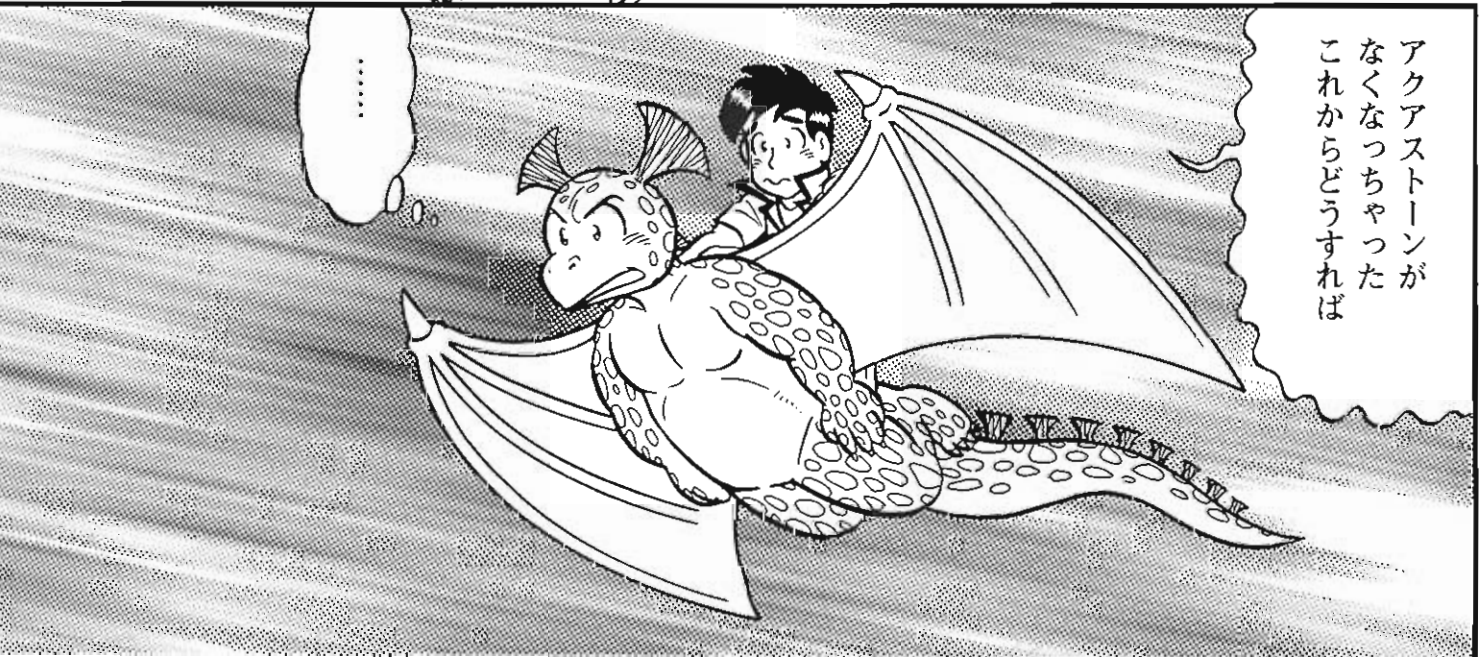


ヒロシ
ボクの背に
のって!!

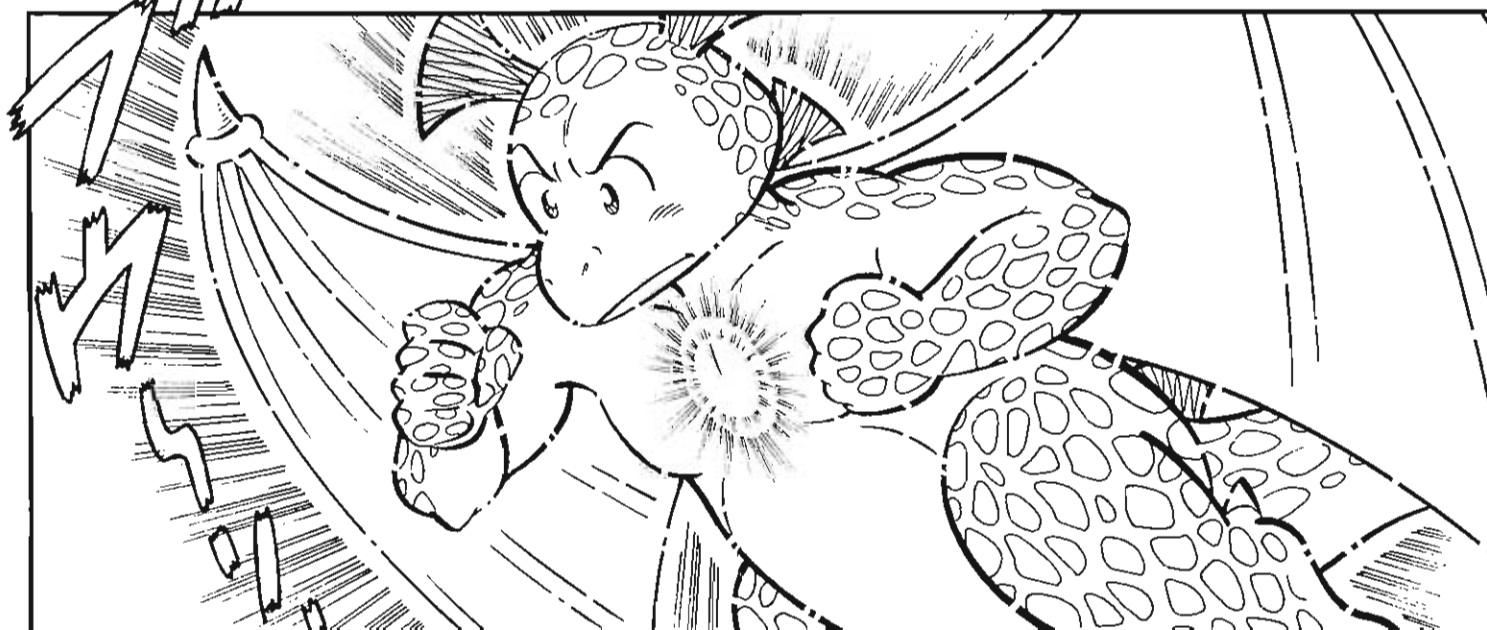
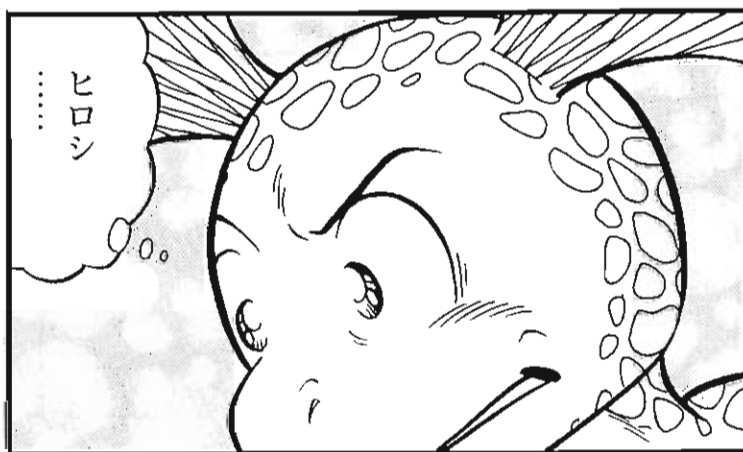


まったく逃げ足が
早いぜ

でももう
オレ様の天下だ
ウッシャッシャー！



アクアストーンが
なくなっちゃった
これからどうすれば



ドラゴンゴン
体が光ってるよ

ヒロシ
アクアストーンは
もう一つあるんだ

え？
どこに
あるの

ボクの体の中さ
キミの印旛沼への強い
思いがアクアストーンを
活動させたんだ

どんどん力が
湧いてくる

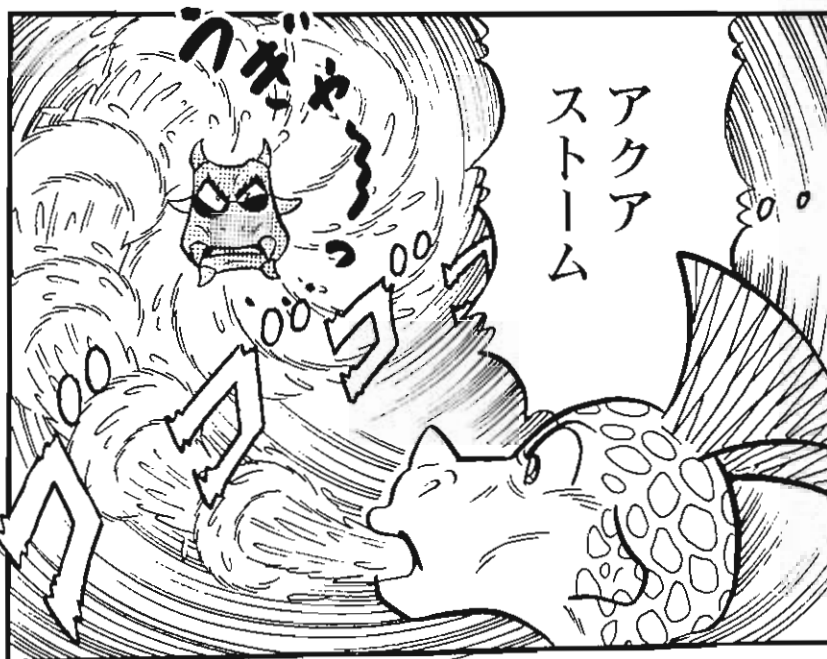
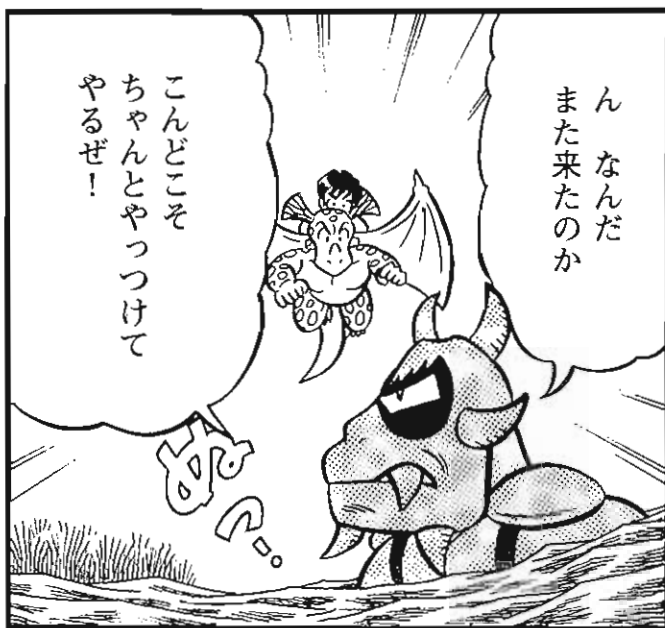
トオルもユキも
オレと同じ気持ち
でいるんだ

ドラゴンゴン
頑張ってる！

ヒロシ君
ドラゴンゴン
信じていますよ

バージョン
アップ！

メガキスを
倒すよ！！



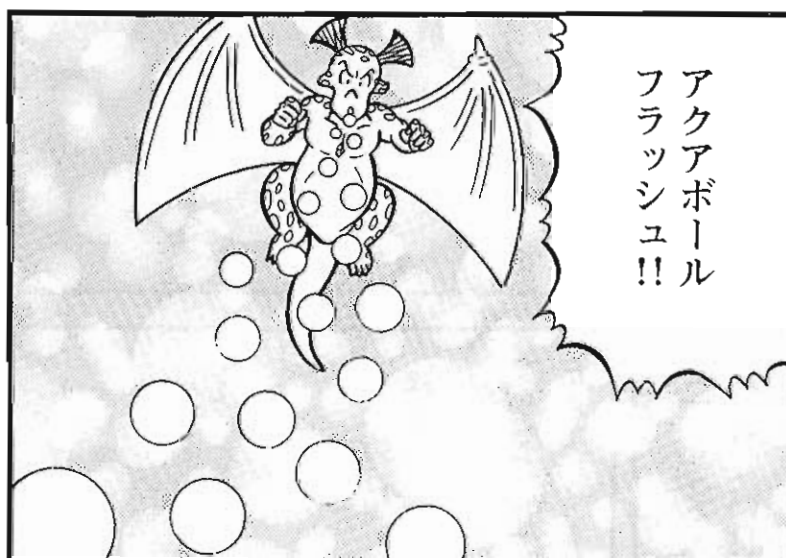


分身が戻れば
もうこっちのもんだ
ヨーン！



ドラゴンゴンも
アクアストーンを
持つてるんだ!!

くそーっ
だましたな
分身集まれ!!



アクアボール
フラッシュ!!



ドラゴンゴン
チャンス!!

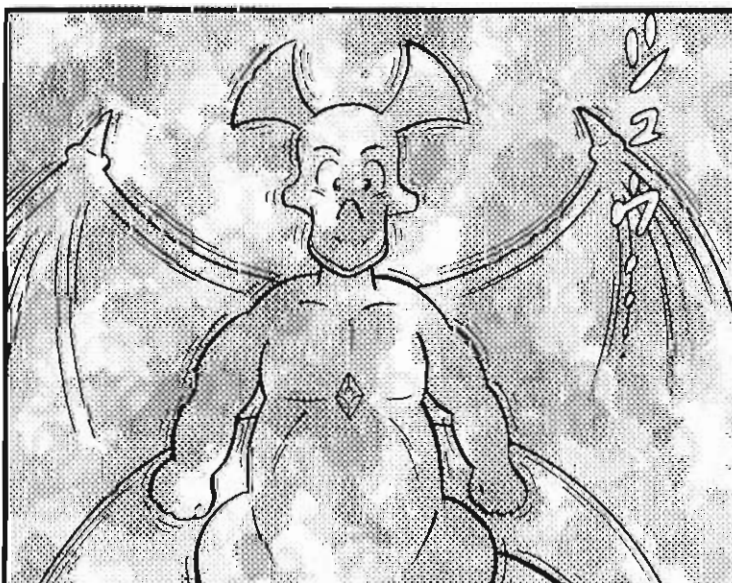
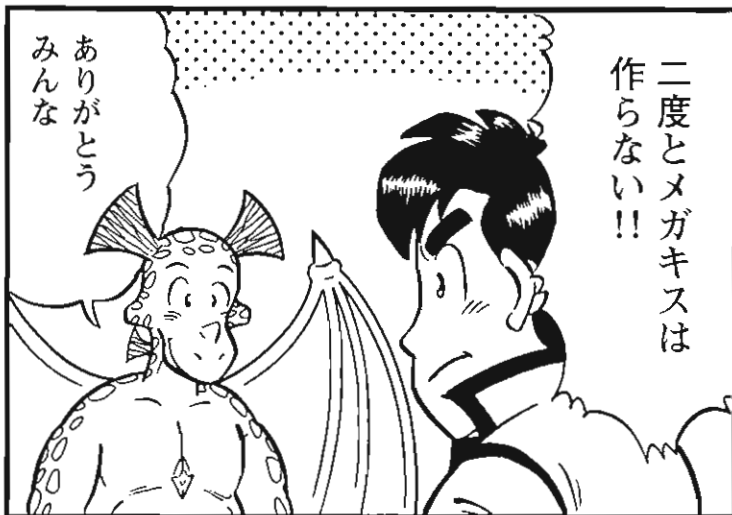
ウン!!

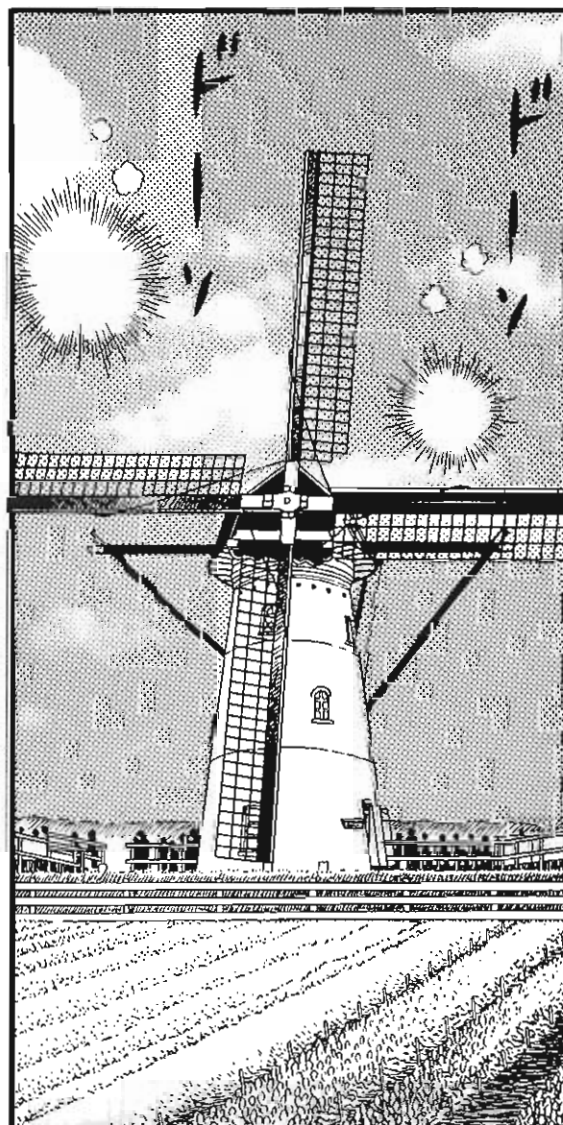
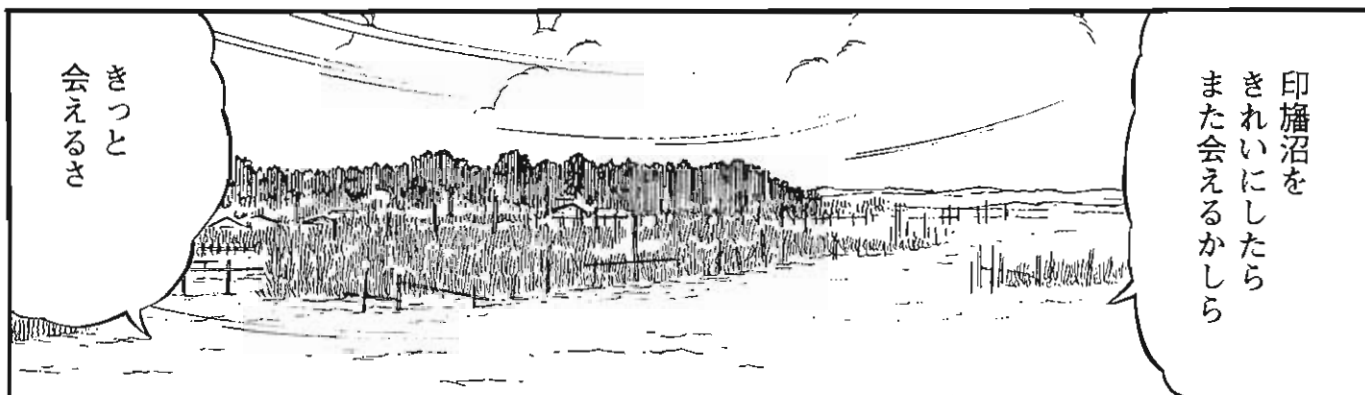
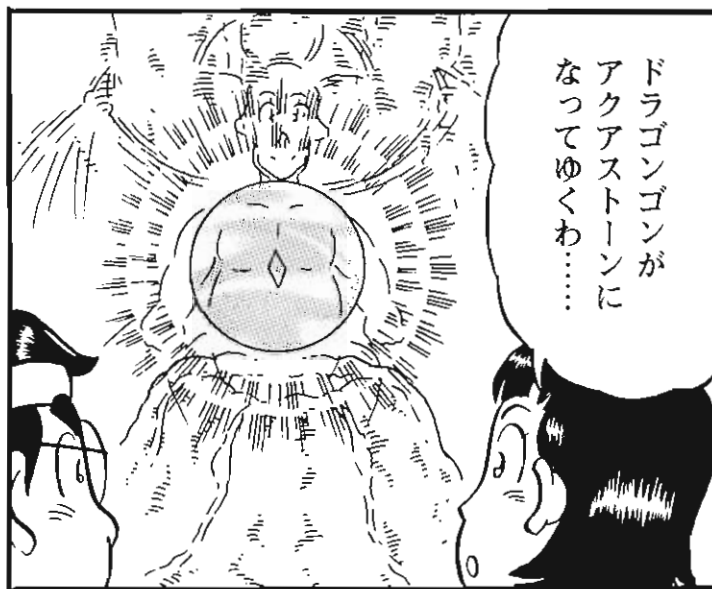


超アクアボール
フラッシュ!!



ああ？
アクアボールに
分身が取り込ま
れて消えていく





信じてるよ
みんな……

アクアストーンの
しずくがあれば
大丈夫ですよ

ああ でも
トオルはそれまでに
泳げるようにならない
とな

印旛沼を生き物の
オアシスにして
みんなが泳げるように
しましょ





まんが印旛沼物語
「メガキスの襲来・印旛沼を救え！」

編集・発行 財団法人 印旛沼環境基金
〒285-8533 千葉県佐倉市宮小路町12番地
TEL. 043(485)0397~8

制作 TREND-PRO

作画 酒井 ゆきお

発行日 平成12年1月